

FileMaker Server Admin Consoleと

Javaの互換性まとめ

(2014年版)

2014/03/15

FM-Chubu発表資料

松尾 篤 (株式会社エミック)

Agenda

- FileMaker Server Admin Consoleとは
- FileMaker ServerとJavaの現状
- Javaとの互換性まとめ

FileMaker Server Admin Consoleとは

Admin Console

- FileMaker Serverの純正管理ツール
- バージョン12まではJava Web Startを利用してサーバーから管理ツールを取得
- すなわちJavaを使用している

問題点

- 安全上の理由でJavaを最新版に更新する必要がある
- JavaとFileMaker ServerのバージョンによりAdmin Consoleを使用できないケースに直面してしまう

FileMaker ServerとJava の現状

FileMaker Server 9

- 2012年9月にメーカーサポートが終了
- 最新のJava 6およびJava 7ではAdmin Consoleでの各種操作が不可

FileMaker Server 10

- 2014年9月にメーカーサポート終了予定
- 制限や条件はあるがJava 7でも一応
Admin Consoleは動く（一部非対応）
- サーバー側で使用するTomcatはJava 7に
非対応

FileMaker Server 11

- 2013年2月にFileMaker Server 11v5が登場
- 制限や条件はあるがJava 7でも一応Admin Consoleは動く
- サーバー側で使用するTomcatはJava 7に非対応 (Java 6を利用して動作)

FileMaker Server 12

- 2013年4月にFileMaker Server 12v4、同年12月にFileMaker Server 12v5が登場
- 12.0v4で管理サーバー（Admin Consoleサーバー）とカスタムWeb公開エンジンで使用するTomcatがJava 7に対応
- 12.0v5でJava 7 Update 51に対応

FileMaker Server 13

- 2013年12月にFileMaker Server 13が発売
- 刷新されたAdmin Console
 - HTML5で完全に再構築
 - 管理用端末にJavaは不要！

Javaとの互換性まとめ

Java for OS X 2012-006

- Java Web Startのサポートが廃止
- OS X LionとOS X Mountain Lionで
Admin Console使用不可に
- Java 7であれば起動可能

Java 7での問題

- Java 7 Update 25以前では名称にマルチバイト文字を含むファイルをアップロードできない (Update 40以降で解決)
- Chromeではサポートされていない

OS XでのJavaの使用制限

- Snow Leopard以降のOS Xに内蔵されているマルウェア感染防止機能で使われる定義ファイルが更新されると、古いバージョンのJavaを使用できないようになる（2013年2月頃から）
- Admin Consoleを起動できない状況を回避するために定期的にJavaを更新しなくてはならない

Java 6

- 公式アップデートが2013年4月に終了
- OS X版Java SE 6のアップデートも2013年10月が最後

OS X Mountain Lion v10.8.3 Security Update 2013-001

- [Admin Console の開始] ボタンをクリックしても何も反応がない状態に
- ダウンロードフォルダにあるJava Web Start用の.jnlpファイルを明示的に開かない限りAdmin Consoleを実行できないようになった

OS X Mountain Lion v10.8.4

- Java Web Start用の.jnlpファイルが Gatekeeperの対象になる
- 右クリック or Control + クリックでファイルを開いて対処しなくてはいけない状態に



Java for OS X 2013-004

Java for Mac OS X 10.6 Update 16

- Java 6の公式アップデート終了後に更新されたOS X用
Java SE 6 Update 51
- OS X版FileMaker Server 10/11/12で管理サーバーおよび
カスタムWeb公開エンジン用のTomcatが自動起動しな
くなる
- FileMaker ナレッジベースでパッチが配布されているの
で要適用（もしくはcatalina.shファイルのJAVA_OPTS環
境変数に「-Djava.awt.headless=true」を追加）

OS XとJava 7の問題

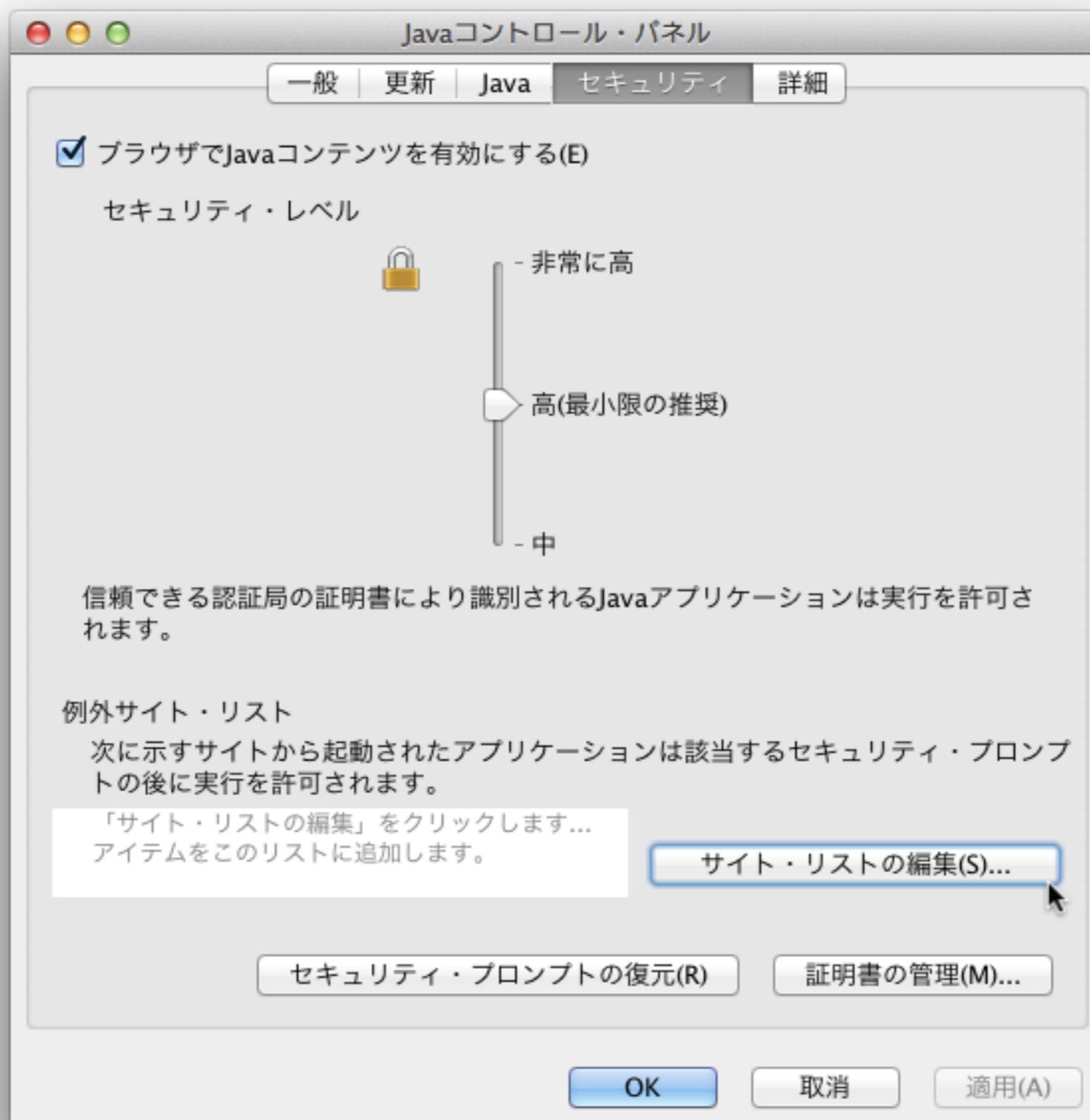
- OS Xで名称にマルチバイト文字を含むファイルをアップロードできない問題
- クライアント側にJava 7 Update 40以降を、サーバー側にもJDK 7 Update 40以降をインストールすることで解決
- Java 7 (JRE 7) とJDK 7は違うものなので要注意

IE11での問題

- Internet Explorer 11ではFileMaker Server 10/11/12のAdmin Consoleを起動不可
- [Admin Console の開始] ボタンが表示されない

Java 7 Update 51

- セキュリティ関連機能の制限強化により Admin Console を起動できなくなる
- FileMaker Server 12v5 であれば問題なし
- 回避策は Admin Console 開始ページの URL を Java コントロール・パネルの「例外サイト・リスト」に登録



どのバージョンの
FileMaker Serverを
使うべきか

推奨されるバージョン

- 最新のFileMaker Server 13もしくはは12.0v5
- バージョン11以前ではサポートが終了したJava 6やTomcat 5.5が使用されている

まとめ

- FileMaker Server 13では管理用端末にJavaは不要
- FileMaker Server 12以前では互換性に注意しながらJavaは最新版にアップデートを